

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

臨床検体から樹立した悪性リンパ腫細胞株を用いた化学療法耐性機序の解明と新規治療の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

先行研究「分子標的治療の作用メカニズムに関連する造血器腫瘍および関連疾患の遺伝子解析 承認番号：189」に参加されたびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんであり、すでに細胞株が樹立されている患者さん

2. 研究目的・方法

我が国の悪性リンパ腫で最も頻度が高い病型はびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫です。びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の初回治療として、2000 年代よりリツキシマブと殺細胞性抗がん剤の併用療法が標準療法ですが、約 3 割は初回治療のみで十分な効果が得られなかったり再発したりしてしまいます。初回治療抵抗性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんから樹立済みの細胞株を用いて、基礎実験を行うことで細胞の特徴や治療薬の有効性を解析します。また、樹立した細胞株を理化学研究所 CELL BANK に提供することで、初回治療の耐性機序や有効な治療法の新規に確立のための研究に寄与することを目指します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2030 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目は、患者背景（年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）および臨床検査項目（血液、生化学、骨髄検査）、治療薬、治療効果評価、診断時からの生存期間です。

5. 外部への試料・情報の提供

樹立した細胞株を理化学研究所 CELL BANK に供与します。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学藤が丘病院 血液内科 馬場 勇太

研究分担者 昭和医科大学医学部 内科学講座 血液内科学部門

中牧 剛

昭和医科大学 医学部 臨床病理診断学講座

矢持 淑子

昭和医科大学藤が丘病院 血液内科

福田 哲也

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院

氏名：馬場 勇太

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151